

公 共

(現社・政経)

公共(現社・政経)

[I] 次の各文を読んで、後の問いに答えよ。

1. 財政は、原則として(①) 収入によって営む。(①) のあり方を、^a 経済状況や社会情勢や実情にあわせ、税率の変更や(①) の新設などを行う。
^b 1989年は(②) が導入され、1997年、2014年、2019年にその税率は引き上げられた。この(②) の導入と所得税の減税は、(①) に占める直接税と間接税の比率を大きく変えることになった。
2. (①) で必要な歳出をまかなえないときは、国債を発行して不足分を補う。国債は、国が行う借金である。財政法においては、道路や港湾等の建設を目的とする(③) を除き、原則的に国債の発行を禁止している。しかし第1次オイルショック時の税収不足を補填するために、1975年に(④) が特別に認められると、その後、国債の発行額は急速に増加することとなった。そのため、日本は、^c 歳入に占める国債の割合が高い。

問1 各文中の空欄①～④に入る最も適当な語句を答えよ。

問2 傍線部 a のことを何というか答えよ。

問3 傍線部 b における各年で定められた税率はそれぞれ何パーセントか答えよ。

問4 傍線部 c のことを何というか答えよ。

[II] 次の各文を読んで、後の問いに答えよ。

1. 社会保障を歴史の観点で見ると、1601年のイギリスにおける(①) や、19世紀末のドイツで(②) が作った社会保障制度などがある。ただし、いずれも国家による慈善や恩恵という側面が大きかった。
2. 日本における社会保障制度は、^a 社会保険、社会福祉、公衆衛生、(③) の4

種類である。（③）は生活保護とほぼ同義であり、8つの扶助制度がある。

問1 各文中の空欄①～③に入る最も適当な語句を答えよ。

問2 傍線部 a の社会保険の5種類を答えよ。

〔Ⅲ〕 次の各文を読んで、後の問いに答えよ。

1. 国際法は、国家間で合意した（①）と、各国の慣行が積み重なってできた（②）からなる。
2. 第一次世界大戦の反省から、1920年に発足した（③）は、それ以前の勢力均衡とは違う平和維持の仕組みとして（④）を採用した。1945年には国際連合が誕生し、（③）の失敗から（④）をより強化するように（⑤）が作成された。
3. 国際連合では、戦争のみならず、あらゆる武力の行使を禁止し、15か国からなる（⑥）に平和維持の責任を持たせている。

問1 各文中の空欄①～⑥に入る最も適当な語句を答えよ。

問2 国際連合の常任理事国の5か国を答えよ。

問3 国際連合において、2015年に策定された持続可能な開発目標をアルファベットで何というか答えよ。

〔Ⅳ〕 次の各文を読んで、後の問いに答えよ。

1. 貿易による利益をイギリスの（①）が a 比較生産費説 によって理論的に説明した。（②）において、後進国の工業化と産業育成のためには、b 一定期間の関税

や輸入数量の規制をすることで、その国の産業を保護する必要があると、ドイツの経済学者（③）が主張した。

2. 自国と外国との特定期間における経済取引の結果を貨幣額であらわした（④）は、財やサービスなどの取引を示す（⑤）、金融資産の取引を示す（⑥）や資本移転等収支などがある。

問1 各文中の空欄①～⑥に入る最も適当な語句を答えよ。

問2 傍線部 a とはどのようなものか40文字程度で説明せよ。

問3 傍線部 b のような貿易を何というか答えよ。